

令和6年度（2024-25）

北海道伊達開来高等学校



Welcome to Hokkaido Date Kaiki High School

Information for Prospective Students and Parents

School Guidebook



共に開こう 未来への扉！

Let's Open Doors To Your Future Together!

伊達開来高校によこそ!!

令和3年(2021年)4月、北海道伊達開来高等学校(ほっかいどうだてかいきこうとうがっこう)が開校しました。伊達高等学校と伊達緑丘高等学校を再編し、普通科単位制の高等学校として新たなステージに踏み出しました。

生徒一人ひとりの多様な自己実現を全力で支援し、特色ある充実した教育内容を展開しながら、「地域と共に歩む道立高等学校」を目指していきます。

北海道伊達開来高等学校 学校長

藤 村 学

「開来」(かいき)の由来

「継往開来」(けいおうかいらい)、言葉の意味は、先人の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開くことを表しています。つまり、北海道開拓の一翼を担った伊達市の足跡や、地域の教育を牽引してきた伊達高校と伊達緑丘高校の歴史と伝統を受け継ぎ、世界を視野に未来を見つめ、人生を切り開く人材を育成したいという願いを込めています。

一人ひとりの夢の実現へ

高校への入学は、ゴールではありません。皆さんの夢を叶える大切な過程です。伊達開来高校での学びは、自分の本質を気付かせ、伸びしろを最大限に引き出します。本校は、生徒にとって「通いたい」、保護者にとって「通わせたい」オンリーワンの学校を目指し取り組んでいます。

みなさんの夢を本校で一緒に叶えましょう。



校訓 格致日新

校訓「格致日新」（かくちにつしん）とは、物事の道理や本質を、探究を通して深く学び、日々自己を向上させることを目指して、学校生活に励んでほしいという思いが込められています。本校の全ての教育活動の理念となる考えです。

学校教育目標

「情熱にあふれ たくましく しなやかに生きる人を育む」

3つのキーワード

情熱
たくましさ
しなやかさ

前向きな姿勢や態度、関心、意欲、原動力
自立、主体性、挑戦、創造、探究
共生、感性、多様性、協働性

校章



校章のデザインは、伊達開来高校の生徒たちが未来や世界に向かって羽ばたく「飛翔」を表現しており、中央の「D」（伊達開来）から、日々に新たに「成長」する姿勢を花びらのような翼で表現しています。未来への期待や輝きをイメージした黄色は「新たな夢の実現」を、北の湘南の爽やかな空や海をイメージした青色は「まだ見ぬ世界への挑戦」を、日本有数の藍の生産地である伊達をイメージした紺色は「地域の信頼」を表現しています。

スクールカラー

スクールカラーは紺藍（こんあい）です。伊達市は藍の生産が盛んであることから、スクールカラーには藍をベースとした「紺藍」にしました。「紺藍」は、濃い藍色であり、強く染めると伊達高校のスクールカラーである鉄紺に、浅く染めると緑色（伊達緑丘高校）になる色であり、両校の伝統を受け継ぎました。

School Policy 3つの方針

I 育成を目指す資質能力に関する方針

- 主体的に学び、意欲的に新たな学びに取り組む力
- 多様性を尊重し、互いのよさを認めて協働する力
- 地域社会に貢献し、持続可能な未来を創造する力

ジェネリック・スキル

育成を目指す資質や能力を育成するために必要な7つのジェネリック・スキル

- 傾聴力
要点を把握し、共感して他者の話を聞くことができる



- 自己肯定力
自己を理解して自信を持ち、他者を尊重することができる



- 分析力
課題を明確にし、本質がわかるよう整理することができる



- 表現力
考えをまとめ、他者にわかりやすく伝えることができる



- 思考力
課題の重点を認識し、解決方法を導き出すことができる



- 創造力
既成観念にとらわれず、新しい物事を考えることができる



- 調整力
異なる考えをまとめ、物事を判断し行動することができる



II 教育課程の編成及び実施に関する方針

単位制の趣旨を生かし、創意工夫に満ちた多様な社会に開かれた教育課程を編成・実施するとともに、生徒や地域の実態等を十分に踏まえ、次の3点を柱とする特色ある教育活動を実施します。

探究的学習プログラム

グローバル・プログラム

キャリア・プログラム

III 入学者の受入れに関する方針

基本的な生活習慣や中学校段階における基礎的な学力が身につけており、次のいずれかに該当する生徒の入学を期待する。

- 1 大学進学等進路目標を明確に持ち、その実現に向けて意欲的に学習に取り組むことができる生徒
- 2 グローバルな視点を持ち、様々な世界との交流やその文化を主体的に学ぶことができる生徒
- 3 地域と連携・協働しながら伊達市及び西胆振の未来を創造することに貢献することができる生徒

教育課程

本校では、普通教科に関する科目を中心に、就職から専門学校（看護系含む）や大学・短大への進学まで対応した、100以上の多様な科目を開設しており、生徒は自分の興味・関心や進路希望等に応じて必要な科目を選択して学ぶことができます。

また、生徒の学習の実態や進路希望等に応じて、少人数授業や習熟度別授業など、きめ細かな学習指導を受けることができるのが、本校の教育課程の大きな特徴です。

令和7年度入学生教育課程表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	化学基礎	生物基礎	体育	保健	芸術選択			コミュニケーション英語Ⅰ	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	総合的な探究の時間	LHR

			数学選択						2年次 選択科目			共通選択			
2年次	論理国語	地理総合	数学Ⅱ	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	論理・表現Ⅱ	家庭基礎	物理基礎	化学	数学B	古典探究	生物	総合的な探究の時間	R・H・I
			地学基礎						生物	実用国語	国語探究A	発展スポーツA			
									古典探究	ビジネスアプリケーションA	文化史発展	公民応用			
									国語教養	フードデザイン	日本史探究				
									応用英語	現代音楽	世界史探究				
										簿記	音楽Ⅱ	実用英語A			
	生活と福祉	書道Ⅱ	保育基礎												
	ディベート ディスカッションⅠ	美術Ⅱ	コンピュータグラフィックス												
		情報テクノロジー													

						3年次 選択科目						共通選択			
3年次	論理国語	コミュニケーション英語Ⅲ	論理・表現Ⅲ	体育	だて学	数学Ⅲ	化学	国語探究B	生物	数学C	古典探究	倫理	政経	総合的な探究の時間	R・H・I
						数学探究	生物	物理		古典教養	生物研究	物理研究	化学研究		
						発展数学B	古典探究	生物研究	科学と人間生活	化学研究	発展スポーツB	地学			
						色彩に親しむ	書に親しむ	音楽実技	音楽教養	音楽Ⅲ	書写	作品研究			
						政治に親しむ	理科応用	美術表現	書道表現	デッサン	情報デザイン	服飾手芸			
						国語表現	経済に親しむ	数学基礎B	コンテンツの制作と発信	ビジネス・コミュニケーション	簿記	時事問題研究			
						保育実践	マーケティング	小論文研究	実用英語B	地理探究		エッセイライティングⅠ			
						情報システムのプログラミング	栄養	英語会話発展	世界史発展			課題研究			
						ビジネスアプリケーションB	ネットワークシステム	地理発展	日本史発展						

だて学（3年次必履修科目）

歴史ある伊達市の伝統と文化を学ぶ科目です。複数の分野に分かれ、地域を題材にそれぞれのテーマに基づいた探究的な学びを進めます。

※令和6年6月時点。変更する可能性もあります。

探究的学習プログラム

Inquiry-Based Learning Program

すべての教育活動において、探究的な学習活動を取り入れます。実際の学習活動では、講義中心の授業だけではなく、自ら考え、アイデアをグループで話し合い、発表等を通してクラス全体で共有するといった活動を行い、学びを深めていきます。

正解のない課題に対し、さまざま意見や考えを交えながら、自らが最適解を導きだしたり、興味のある内容に探究的なアプローチで学びを深めるなどして、本校が育成を目指す資質・能力を育みます。

進学探究クラス

一般受験で選抜制の高い国公立大学や私立大学への入学を目指すといった同じ目標を持つ生徒が集団になると、その集団の意識の高さが個人の意識をより高め、進学に向けて全員が互いに切磋琢磨する雰囲気生まれます。このような相乗効果を狙った、ワンランク上の大学進学を目指す「進学探究クラス」を設けます。

2年次以降は進路希望の動向などにより「進学探究クラス」と「自己探究クラス」の生徒の入れ替えなどを予定しています。



自己探究クラス

探究的、体験的な学習を通じて、公務員や一般企業などへの就職希望者、医療系・調理系・介護福祉系などといった専門学校、あるいは道内外の様々な大学・短大への進学希望者など、自分のやりたいこと、学びたいことを探究しながら、個々の多様なキャリアの実現を目指す「自己探究クラス」を設けます。



55分授業

1単位時間を55分とし、授業等における探究的な活動の充実を図ります。毎日の各教科・科目において話し合いやグループワークなどを行ったり、55分の授業時間すべてをプレゼンテーションに充てることもあります。また、少人数指導やティーム・ティーチングを行うなどして、個に応じたきめ細かな指導を行います。

